

兵庫県下の経済動向

平成24年1月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しの動きに一服感が窺われる。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産は足もとやや弱含んでいる。一方で、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調が続いている。設備投資は全体として持ち直している。この間、住宅投資は弱めの動きが続いている。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が8か月ぶりに前年を上回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車すべて増加し、全体では3か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォンは引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家が減少したものの、分譲が増加し、全体では2か月連続で前年を上回った。

公共工事は、独立行政法人、兵庫県、神戸市等が増加したものの、国、その他の団体などが減少したことから、13か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がEU、アジア向けが減少したものの、米国向けが増加し、2か月ぶりに前年を上回った。また、輸入については13か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、情報通信機械工業、電気機械工業、化学工業などの低下により2か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を下回ったものの、所定外労働時間は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数が前月および前年を下回り、金額は前月を上回り前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

10月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数11.1%、遅行指数25.0%となった。

10月の兵庫CIは、先行指数89.1、一致指数94.0、遅行指数104.9となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が3か月連続、遅行指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月ぶり、一致指数が3か月ぶりに前月差増となり、遅行指数が2か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「足踏み」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

11月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は96.3、前月比0.9%低下。出荷指数は96.3、同2.1%低下。在庫指数は121.0、同0.2%上昇。在庫率は139.1、同0.4%低下。生産指数および出荷指数は2か月ぶりに低下、在庫指数は2か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が3.0%増で2か月連続で上昇、出荷は4.8%増で4か月連続で上昇した。また在庫は13.0%増で17か月連続で上昇した。

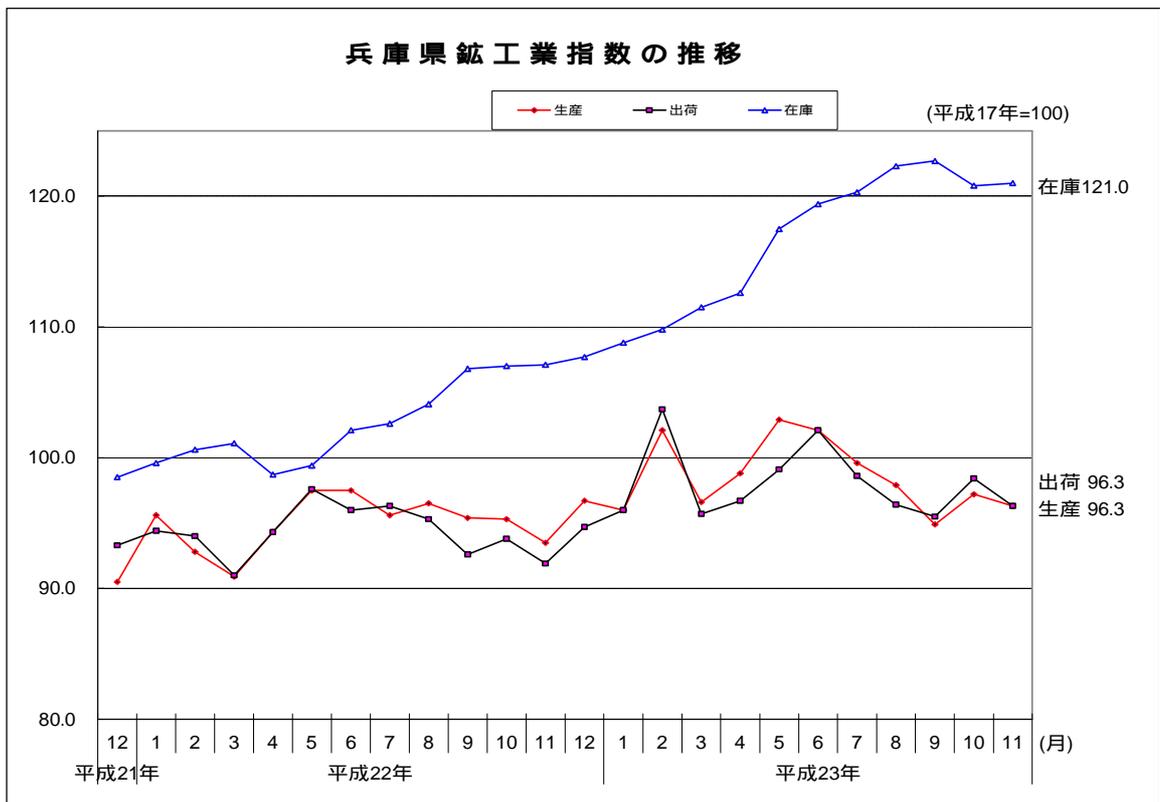
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、ガス温風暖房機等の「金属製品」が8.4%、レーザーダイオード等の「電子部品・デバイス」が5.9%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が0.8%、パン類等の「食料品」が0.5%、蒸気タービン部品等の「一般機械」が0.1%、各々上昇したものの、カーナビゲーション等の「情報通信機械」が16.4%、HIDランプ等の「電気機械」が3.6%、石油化学品製造用触媒等の「化学」が2.8%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

11月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減(%)
生 産	96.3	0.9	99.3	3.0
出 荷	96.3	2.1	99.2	4.8
在 庫	121.0	0.2	123.4	13.0
在 庫 率	139.1	0.4	129.2	9.3

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



11月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	86.3	0.8	上昇	普通鋼鋼帯、H形鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
			低下	銑鉄、普通鋼鋼管、大中小形鋼、亜鉛めっき鋼板
金属製品	82.5	8.4	上昇	ガス温風暖房機、ガス風呂がま、橋りょう、粉末や金製機械材料
			低下	超硬チップ、PC鋼より線線ばね、鋼索、
一般機械	117.0	0.1	上昇	蒸気タービン部品、はん用内燃機関、ボイラ部品、反应用機器
			低下	一般用蒸気タービン、混合機・かくはん機・粉碎機、C(W)BN工具、ショベル系掘削機械
電気機械	111.2	3.6	上昇	太陽電池モジュール、電力変換装置、工業用計測制御装置、一般用エンジン発電機
			低下	HIDランプ、リチウムイオン蓄電池、一般用タービン発電機、プログラマブルコントローラ
情報通信機械	95.0	16.4	上昇	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、無線位置測定装置、基地局通信装置、テレメータ・テレコントロール
			低下	カーナビゲーション、パーソナルコンピュータ、カーオーディオ、プリンタ
電子部品デバイス	102.5	5.9	上昇	レーザダイオード、トランス(コイルを含む)、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコンウエハ
			低下	シリコンダイオード、シリコントランジスタ(1W以上)、IGBT、PDPモジュール
輸送機械	75.5	0.9	上昇	旅客車、特装ボデー、特殊自動車、駆動伝導・操縦装置部品
			低下	船用ディーゼル機関、懸架制動装置部品、機関部品、鋼船、
化 学	90.9	2.8	上昇	化粧品、塩化ビニル(モノマー)、メタクリル酸エステル(モノマー)、ポリスチレン
			低下	石油化学品製造用触媒、塩化ビニル樹脂、医薬品、純ベンゼン
食 料 品	98.8	0.5	上昇	パン類、砂糖、即席めん、しょうゆ
			低下	ビール類、めん類、精米、冷凍調理食品

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた12月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.5%増の268億36百万円で、8か月ぶりに前年を上回った。

神戸、姫路・加古川地区とも、主力の衣料品が伸長。クリスマス商戦やカード会員向けの先行セールが好調だった店も多かった。

また、2011年の県内の百貨店売上高は、前年比1.9%減の2187億5800万円と、11年連続で減少した。大阪・梅田で既存百貨店の増床や新規開業が相次いだほか、東日本大震災に伴い、春先に消費者の節約志向が強まったことなどが響いた。阪神・淡路大震災が起きた1995年の実績(2262億円)を2年連続で下回った。

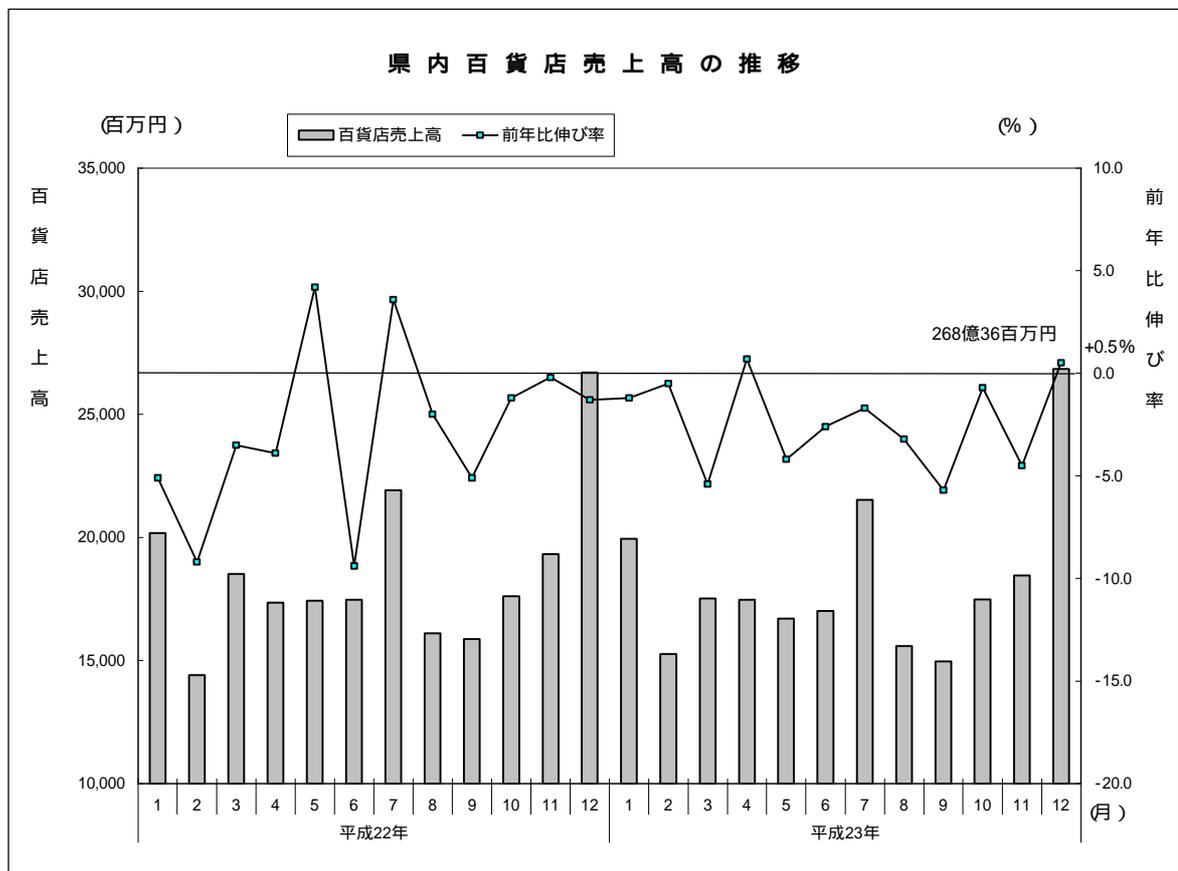
12月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	1,302(7.5)	299(5.2)	1,601(7.1)
婦人服・洋品	5,578(3.8)	757(3.8)	6,336(3.8)
子供服・洋品	588(5.1)	124(4.5)	713(5.0)
身の回り品	2,263(0.3)	291(8.4)	2,554(0.8)
家庭用品	873(4.1)	217(8.2)	1,091(1.9)
食料品	8,193(1.0)	1,769(1.6)	9,962(1.1)
雑貨	2,718(4.8)	571(4.8)	3,289(3.3)
その他	937(3.6)	349(1.1)	1,287(2.3)
計	22,456(0.5)	4,380(0.7)	26,836(0.5)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内 12 月の乗用車新車登録台数は 11,605 台、前年同月比 23.1% 増と 3 か月連続で前年同月の実績を上回った。

12 月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は 4,543 台(前年同月比 36.9% 増)、小型乗用車は 3,499 台(同 18.7% 増)、軽乗用車は 3,563 台(同 12.8% 増)、乗用車合計で 11,605 台(同 23.1% 増)となった。

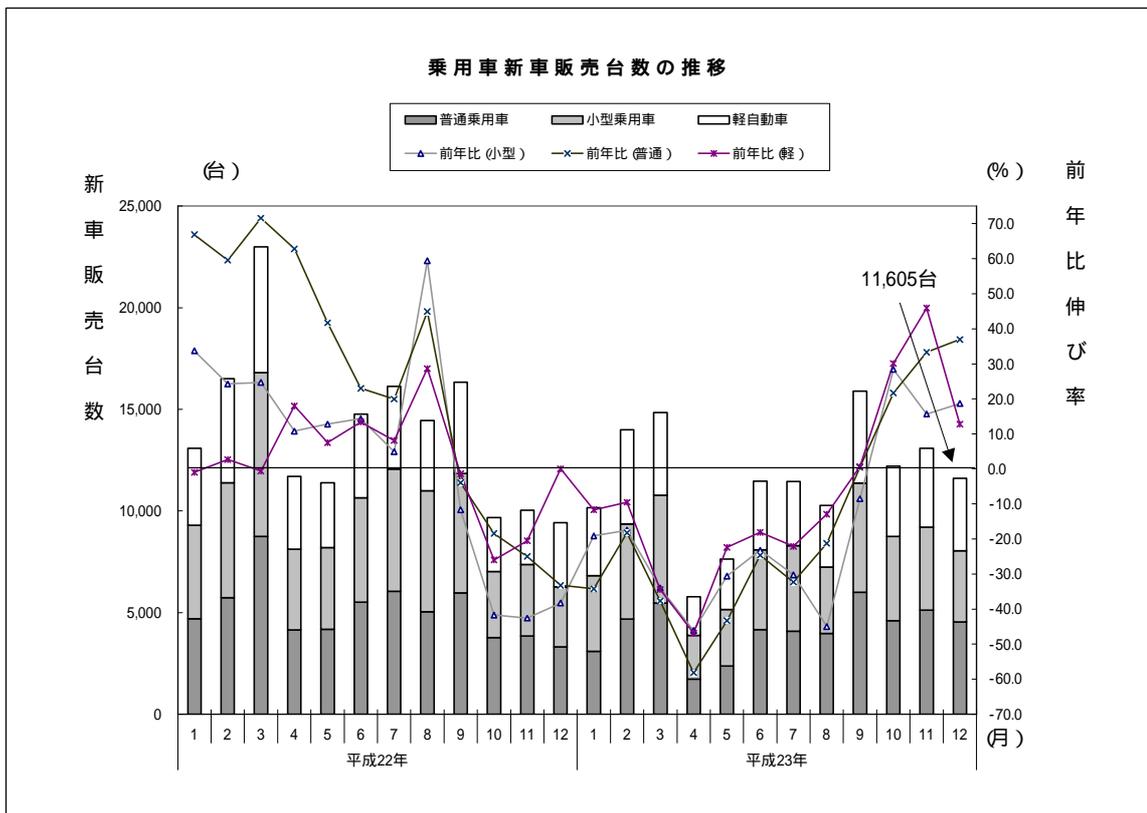
また貨物車等では、普通貨物車は 270 台(同 35.7% 増)、小型貨物車は 471 台(同 14.0% 増)、軽貨物車は 1,194 台(同 27.4% 増)、バスは 51 台(同 200.0% 増)となった。

12 月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,543	36.9	103,814	33.2
小型乗用車	3,499	18.7	90,538	13.9
軽乗用車	3,563	12.8	95,469	16.1
乗用車合計	11,605	23.1	289,821	20.9
普通貨物車	270	35.7	10,577	24.1
小型貨物車	471	14.0	16,170	24.2
軽貨物車	1,194	27.4	31,771	22.3
貨物車合計	1,935	24.9	58,518	23.2
バス	51	200.0	861	26.6
登録車総計	13,591	23.6	349,200	21.3

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が1月16日に発表した機械受注統計によると、平成23年11月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年10月前月比3.2%増の後、11月は同14.7%増の2兆2,607億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10月前月比6.9%減の後、11月は同14.8%増の7,889億円となった。

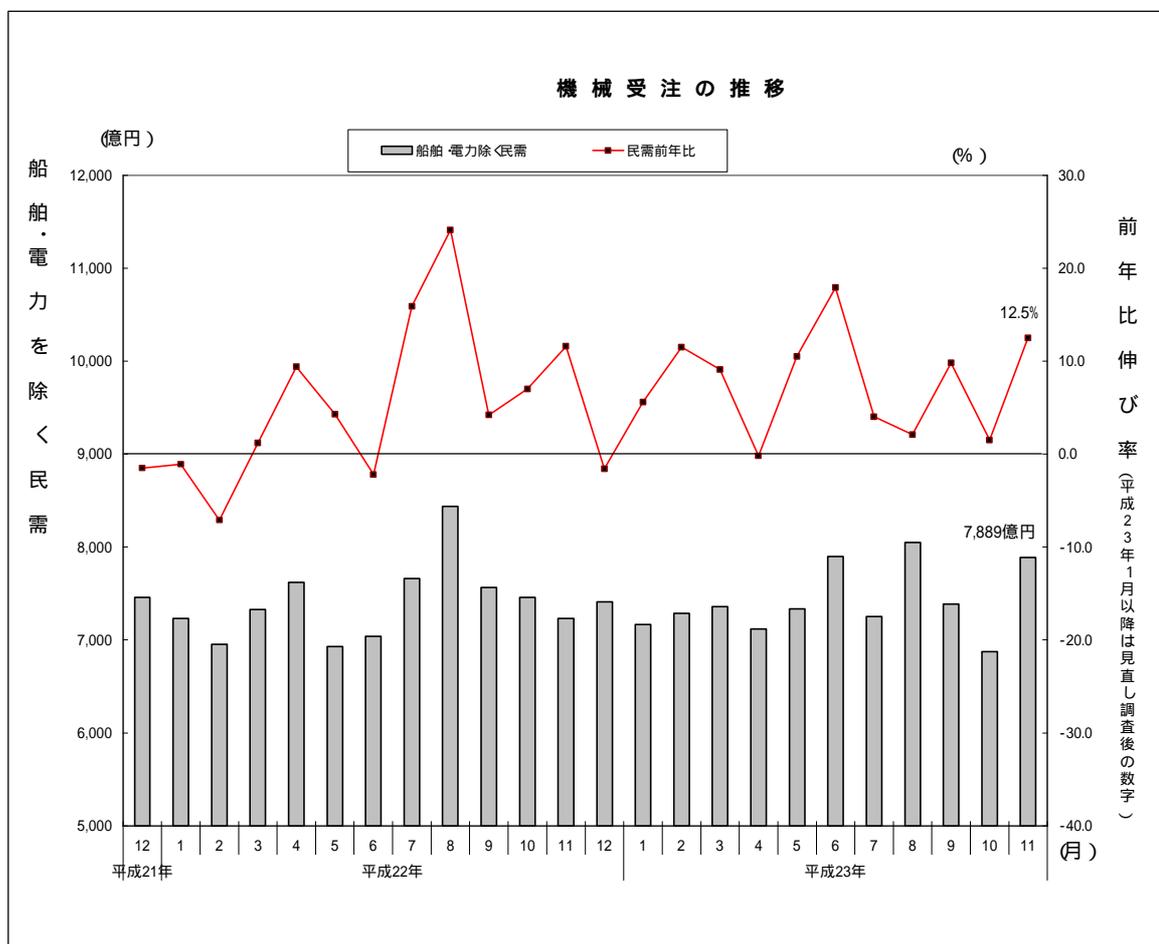
内訳をみると、製造業が同4.7%増の3,382億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同6.2%増の4,395億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、情報通信機械(77.4%増) 精密機械(55.7%増) 非鉄金属(45.6%増) 「その他輸送用機械」(39.0%増) 造船業(37.6%増) 石油製品・石炭製品(37.5%増) 鉄鋼業(17.4%増)等の12業種で、パルプ・紙・紙加工品(53.3%減) 食品製造業(9.0%減)等の3業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(176.2%増) 運輸業・郵便業(105.1%増) リース業(79.6%増) 農林漁業(75.5%増) 電力業(59.4%増) 建設業(21.0%増)等の10業種で、情報サービス業(3.0%減)等の2業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、製造業、非製造業とも増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年12月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+11.6% (製造業+12.7%、非製造業+7.9%)



機械受注統計（平成23年11月分）

	22年 10~12月 実績	23年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 見通し	23年 8月 実績	9月 実績	10月 実績	11月 実績
受注総額	61,589 (3.7) [15.7]	67,789 (10.1) [18.8]	61,253 (-9.6) [9.4]	57,557 (-6.0) [-2.5]	60,316 (4.8) [2.0]	19,834 (6.5) [-3.3]	19,094 (-3.7) [0.7]	19,714 (3.2) [-6.8]	22,607 (14.7) [11.0]
民需	26,554 (-0.3) [13.6]	27,362 (3.0) [10.8]	27,926 (2.1) [15.4]	27,091 (-3.0) [3.6]	27,615 (1.9) [8.0]	8,593 (-3.6) [-10.5]	9,586 (11.6) [16.4]	8,705 (-9.2) [2.1]	10,573 (21.5) [22.2]
” (Ex 船・電)	20,660 (-4.3) [5.6]	21,813 (5.6) [8.9]	22,351 (2.5) [9.8]	22,687 (1.5) [5.8]	21,827 (-3.8) [12.3]	8,049 (11.0) [2.1]	7,386 (-8.2) [9.8]	6,874 (-6.9) [1.5]	7,889 (14.8) [12.5]
製造業	9,314 (-1.7) [11.5]	9,807 (5.3) [16.3]	9,783 (-0.2) [17.2]	10,032 (2.5) [4.4]	9,608 (-4.2) [9.8]	3,709 (13.7) [5.0]	3,061 (-17.5) [4.8]	3,230 (5.5) [2.4]	3,382 (4.7) [7.1]
非製造業 (Ex 船・電)	11,600 (-5.1) [0.3]	11,761 (1.4) [3.5]	12,344 (5.0) [4.2]	12,965 (5.0) [7.2]	12,560 (-3.1) [15.3]	4,117 (-6.1) [-0.1]	4,466 (8.5) [13.2]	4,139 (-7.3) [1.0]	4,395 (6.2) [16.0]
官公需	6,715 (-2.8) [2.6]	6,310 (-6.0) [-10.8]	6,365 (0.9) [-6.9]	6,077 (-4.5) [-11.0]	7,257 (19.4) [19.5]	1,994 (-5.5) [-15.8]	1,973 (-1.0) [-9.6]	2,011 (1.9) [-12.0]	1,905 (-5.3) [-17.1]
外需	25,426 (0.8) [22.4]	28,817 (13.3) [43.1]	25,038 (-13.1) [7.1]	23,708 (-5.3) [-6.8]	23,187 (-2.2) [-8.4]	9,339 (32.3) [10.0]	7,310 (-21.7) [-13.9]	7,431 (1.6) [-15.6]	8,937 (20.3) [8.0]
代理店	2,328 (-2.7) [8.9]	2,512 (7.9) [12.3]	2,588 (3.0) [7.8]	2,331 (-9.9) [-2.0]	2,494 (7.0) [8.8]	738 (-0.2) [-13.8]	855 (15.9) [13.2]	889 (4.0) [20.5]	895 (0.6) [10.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内 11 月の新設住宅着工戸数は、総数で 2,703 戸(前年同月比 7.2%増)となり、持家、貸家が減少したものの、分譲住宅が増加し、全体では 2 か月連続で前年を上回った。また、前月比では 181 戸の増加となった。

11 月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	927	15.1	25,849	5.1
・分譲住宅	1,026	65.8	20,985	13.1
貸家系・貸家	716	11.3	24,446	8.5
・給与住宅	34	750.0	1,355	286.0
総数	2,703	7.2	72,635	0.3

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

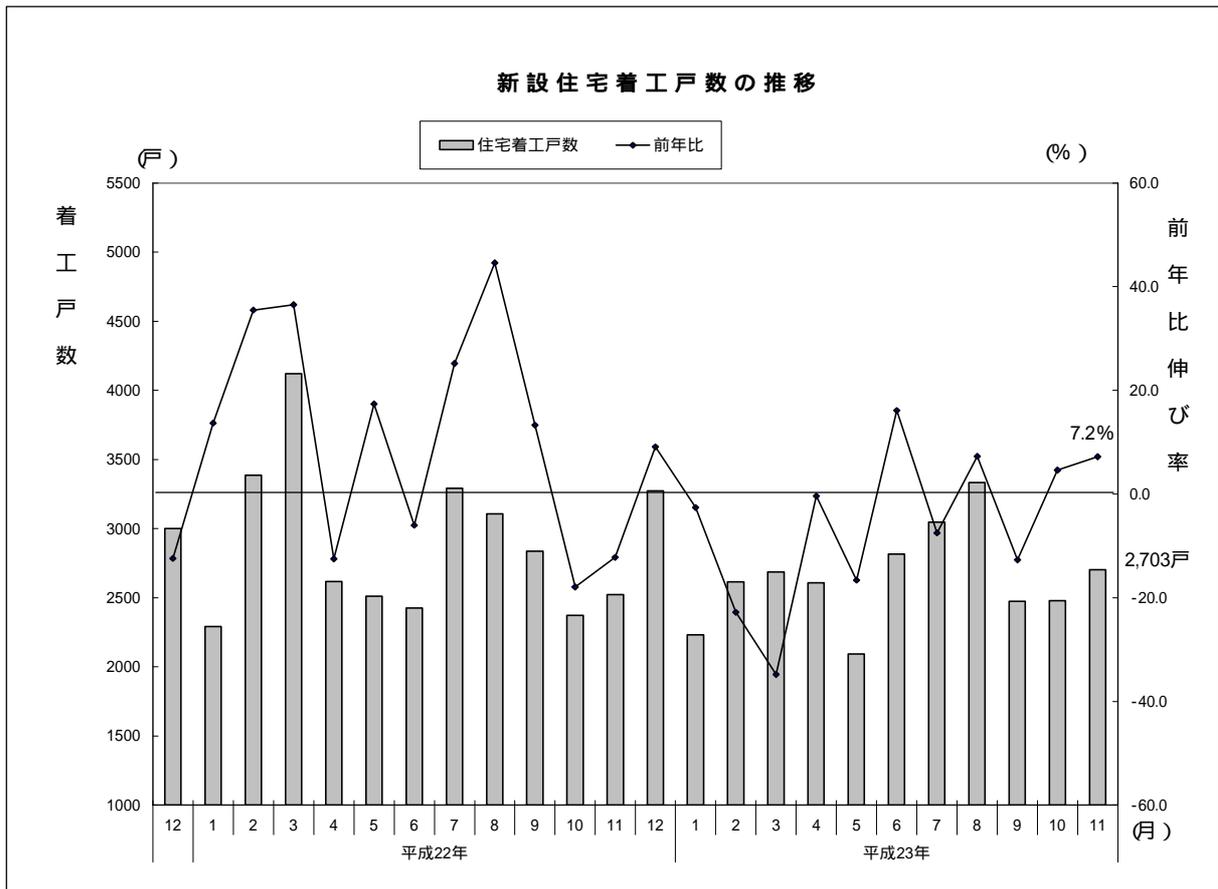
11 月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	837	427	285	371	182	373	126	37	29	36	2,703
前月比	303	-126	-75	-67	92	102	27	-9	7	-31	223

資料：兵庫県住宅計画課

平成 23 年 4 月～11 月の新設住宅着工累計は、総数で 21,555 戸、前年同期比 130 戸の減少となった。利用関係別では「持家」が 7,508 戸(前年同期比 2.6%減)、「分譲住宅」が 7,666 戸(同 23.3%増)、「貸家」が 6,281 戸(同 16.0%減)、「給与住宅」が 100 戸(同 65.4%減)となった。



【公共工事】

12月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は525件で前年同月比5.1%の減少、請負金額は181億78百万円で同6.1%の減少となり、金額ベースでは13か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」が前年同月比84.7%、「兵庫県」同20.0%、「神戸市」同5.7%の増加となったものの、「国」同80.2%、「その他の団体」同41.8%、「神戸市を除く市町」同10.0%の減少となり、前年同月を下回った。

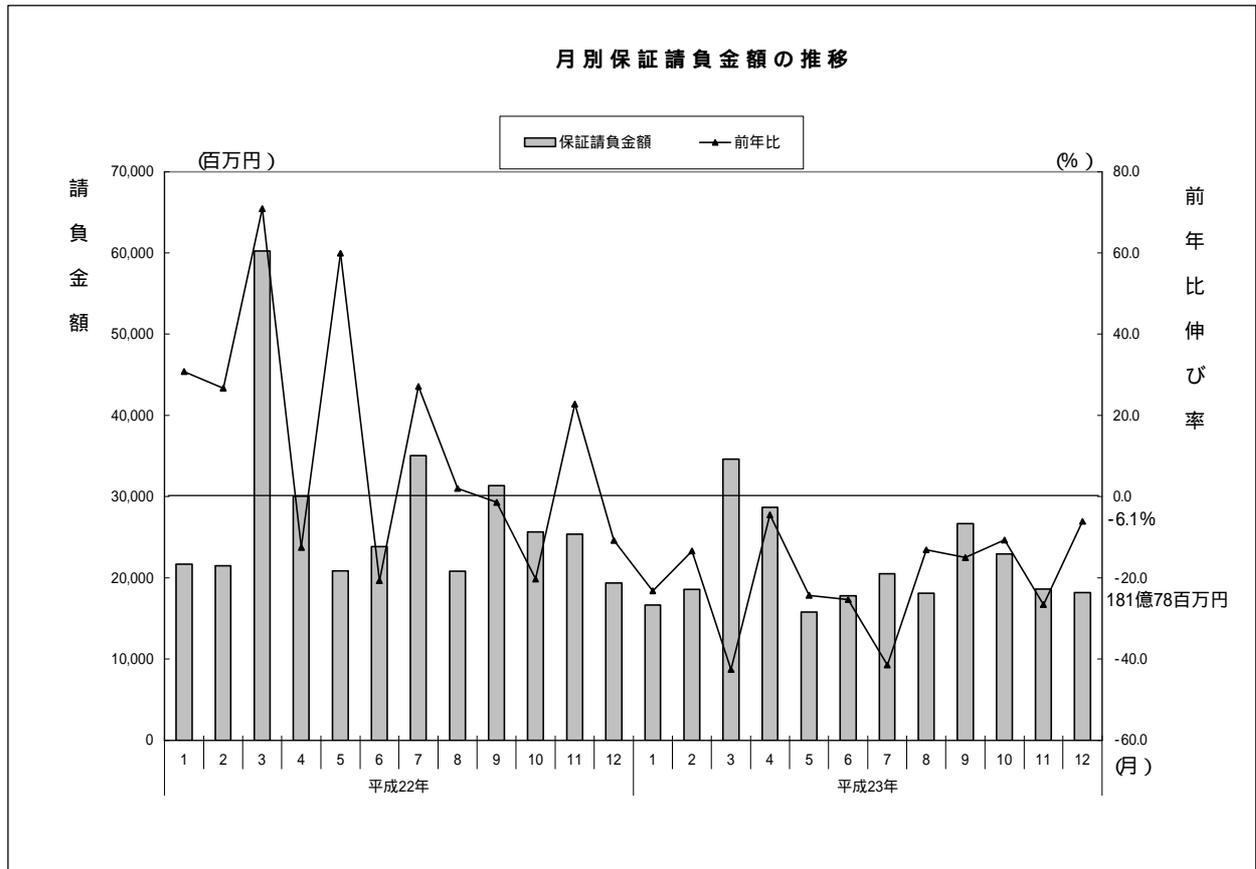
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比92.6%増)、阪神南(同34.1%増)、神戸市(同26.0%増)、中播磨(同15.8%増)、丹波(同0.5%増)で増加となったが、阪神北(同53.3%減)、但馬(同40.3%減)、西播磨(同23.2%減)、東播磨(同16.0%減)、北播磨(同11.8%減)では減少となった。

12月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	15(28.6)	601(80.2)	
独立行政法人等	27(92.9)	1,954(84.7)	新名神高速道路生野中工事、新名神高速道路神戸ジャンクション工事
兵庫県	208(0.5)	7,432(20.0)	加古川小野線東播磨南北道路CDランプ合流部橋上部工事
神戸市	83(6.4)	2,690(5.7)	
神戸市を除く市町	165(19.5)	4,827(10.0)	西宮市越水浄水場管理本館ほか新築工事
その他の団体	27(3.8)	671(41.8)	
合計	525(5.1)	18,178(6.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成23年11月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,528億円、前年同月比7.2%の増加で、総額ベースで23か月連続の増加となった。輸出は、ガラス及び同製品などが減少したものの、船舶、金属加工機械などが増加した。一方、輸入は、音響・映像機器(含部品)などが減少したものの、たばこ、衣類及び同付属品などが増加した。

輸出は4,184億円(前年同月比2.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

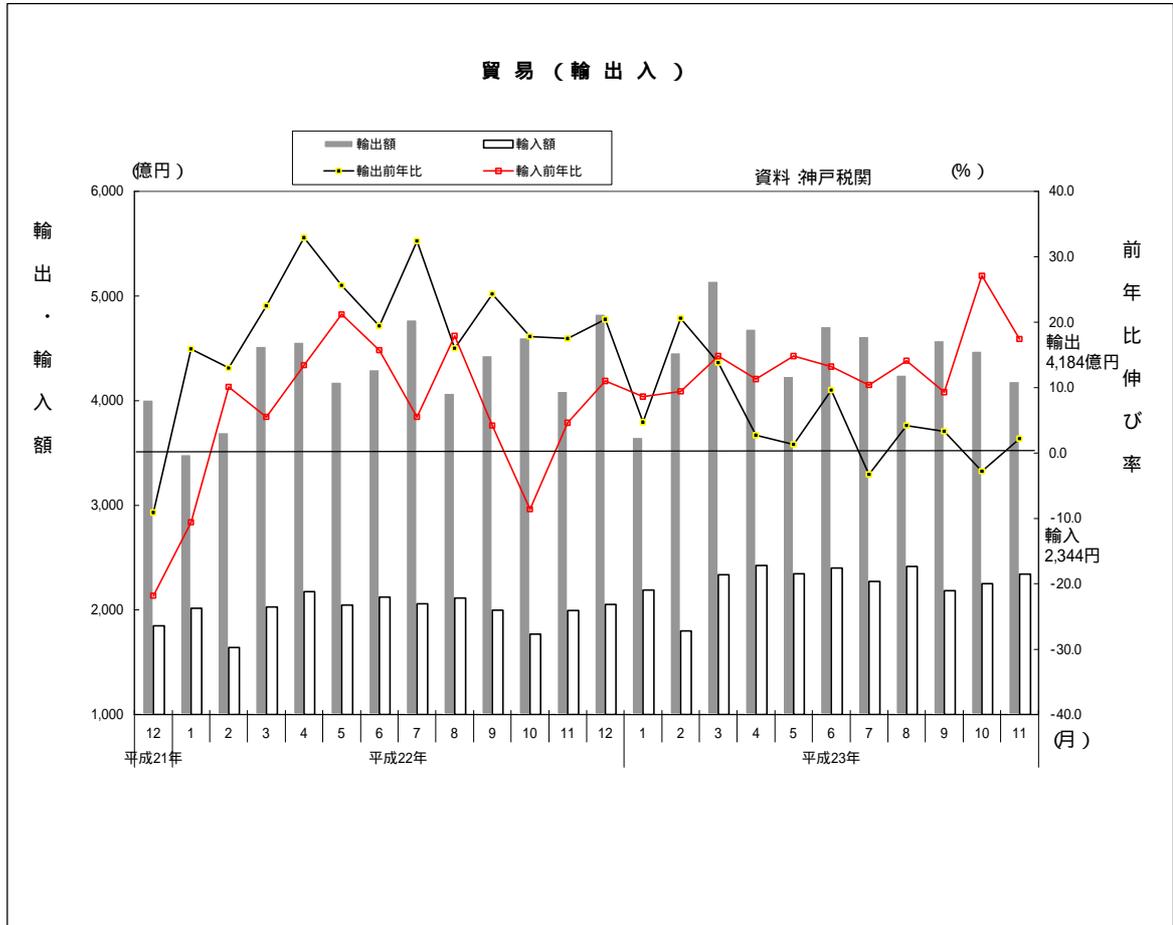
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比10.2%増、4か月連続プラス)、原動機(同6.1%増、2か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同6.8%増、3か月連続プラス)が増加し、プラスチック(同5.1%減、5か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比1.0%減、2か月連続マイナス)、中国(同3.6%減、2か月連続マイナス)、EU(同0.2%減、2か月連続マイナス)向けが減少したものの、米国(同9.2%増、3か月連続プラス)向けが増加した。

輸入は2,344円(前年同月比17.4%増)と13か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比35.3%増、5か月連続プラス)、たばこ(同2.2倍、3か月連続プラス)、有機化合物(同10.8%増、22か月連続プラス)が増加し、非鉄金属(同18.4%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比19.8%増、4か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同12.7%増、13か月連続プラス)、中国(同11.6%増、7か月連続プラス)、EU(同37.8%増、3か月連続プラス)向けがいずれも増加した。



【物 価】『消費者物価』

12月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.4(平成22年=100)となり、前月比は0.2%下落、前年同月比は0.4%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.7となり、前月比は0.1%下落、前年同月比は0.2%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.3となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.8%下落した。

前月からの動きを見ると、交通の値上がりにより「交通・通信」が0.5%、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が0.2%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.3%、保健医療用品・器具の値上がりにより「保健医療」が0.4%、それぞれ上昇した。

しかしながら、油脂・調味料などの値下がりにより「食料」が0.5%、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が1.1%、理美容用品などの値下がりにより「諸雑費」が0.6%、家賃などの値下がりにより「住居」が0.1%、家事用消耗品などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.2%それぞれ下落した結果、総合では0.2%の下落となった。

12月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	99.4	98.1	101.5	105.0	95.1	103.1	98.9	98.8	100.1	94.4	102.5	99.7	99.3
前月比	-0.2	-0.5	-0.1	0.3	-0.2	-1.1	0.4	0.5	0.0	0.2	-0.6	-0.1	0.0
前年同月比	-0.4	-0.9	1.4	4.7	-4.1	-1.3	-1.3	-0.6	0.5	-3.9	-0.8	-0.2	-0.8

(注)平成22年=100

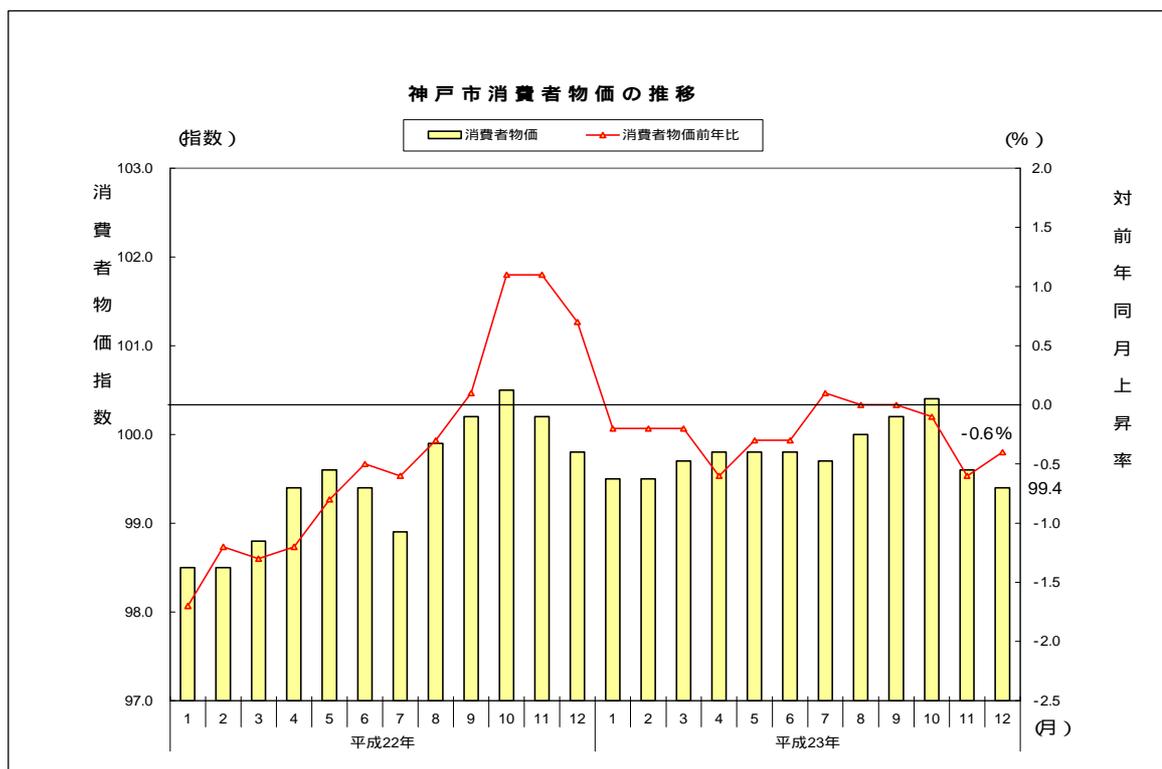
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

交通 (+ 1.8%)・・・航空運賃、JR料金(新幹線、在来線)
 教養娯楽サービス (+ 1.7%)・・・外国パック旅行、カラオケルーム使用料

対前月比値下がりした主な品目

油脂・調味料 (- 4.2%)・・・液体調味料、即席スープ、ドレッシング
 衣料 (- 1.4%)・・・女児スカート、婦人コート、婦人スラックス



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が1月16日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年12月の実績は次のとおり。

12月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	104.7	0.1	1.3
輸出物価	81.5	0.1	4.3
輸入物価	115.5	1.0	6.6

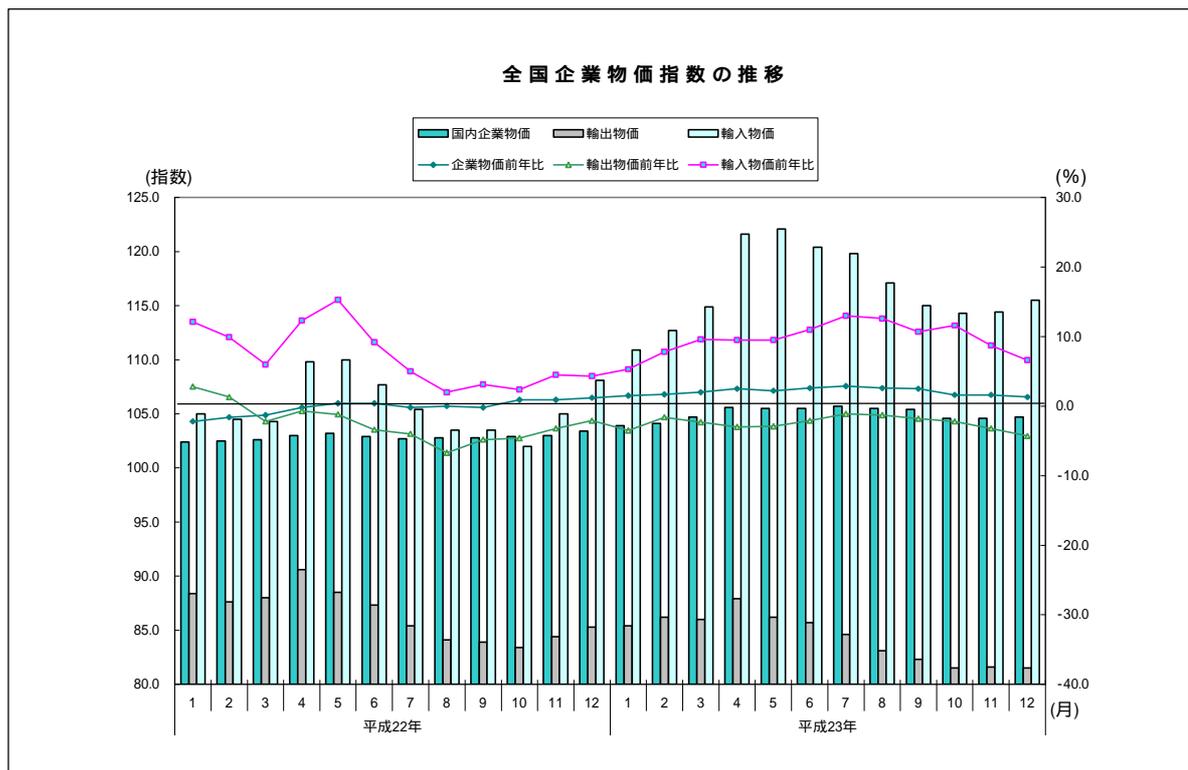
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、非鉄金属(前月比-0.9% <アルミニウム合金など>)、化学薬品(同-0.4% <合成ゴムなど>)、鉄鋼(-0.4% <ステンレス鋼板など>)等が下落したものの、スクラップ類(同+8.9% <鉄くずなど>)、農林水産物(同+1.6% <豚肉、牛肉など>)、パルプ・紙・同製品(同+0.7% <ライナー等>)、石油・石炭製品(同+0.5% <A重油、軽油など>)、電力・都市ガス・水道(同+0.4% <大口都市ガスなど>)等が上昇し、全体では前月比0.1%の上昇となった。

前年同月比では1.3%上昇し、前年比での上昇は15か月連続となった。
原油の国際市況の値上がり影響している。

輸出物価は、輸送用機器(前月比+0.1% <自動車部品など>)等が上昇したものの、金属・同製品(同-0.9% <金地金など>)、化学薬品(同-0.7% <パラキシレンなど>)、電気・電子機器(同-0.2% <集積回路など>)等が下落し、円ベースでは前月比0.1%の下落(前年同月比-4.3%)となった。

輸入物価は、金属・同製品(前月比-1.1% <白金地金など>)等が下落したものの、石油・石炭・天然ガス(同+2.8% <原油など>)、一般機械(同+1.1% <航空機用原動機部品など>)、電気・電子機器(同+0.5% <磁気ディスク装置など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.0%の上昇(前年同月比+6.6%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内11月の新規求人数(全数)は、23,729人(前年同月比1.4%増、前月比8.4%減)で、4か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は65,607人(前年同月比5.4%増、前月比1.1%減)で19か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比9.2%増で21か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.7%減で2か月連続して前年を下回った。また臨時・季節では同17.2%減で13か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比8.8%増)、製造業(同2.7%増)、情報通信業(同47.7%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同19.2%増)、医療、福祉(同13.5%増)は前年を上回ったが、運輸業、郵便業(同17.2%減)、卸売業、小売業(同0.7%減)、学研究、専門・技術サービス業(同1.0%減)、宿泊業、飲食サービス業(同14.1%減)、サービス業(同11.7%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

11月の新規求職申込件数(全数)は、19,819件(前年同月比8.7%減、前月比17.0%減)で、3か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は97,185人(前年同月比7.8%減、前月比5.4%減)で18か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比9.7%減で3か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同6.8%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比22.5%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比25.2%増で30か月連続して前年を上回ったが、在職者は同4.1%減で3か月連続、事業主都合離職者は同21.5%減で23か月連続、自己都合離職者は同14.0%減で18か月連続、自営・他は同5.5%減で6か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、26,566人(前年同月比6.0%減)で、21か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

11月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.06倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.61倍で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

11月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.5%で前月比横ばい、完全失業者数(原数値)は280万人(前年同月比38万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.0%(前年同月より1.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は51万人(前年同月比11万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年11月	23,729	1,779	2,944	316	1,336	3,813	182	350	756	1,598	1,080	5,878	2,649
前年同月比	1.4	8.8	2.7	47.7	17.2	0.7	16.9	7.7	1.0	14.1	19.2	13.5	11.7

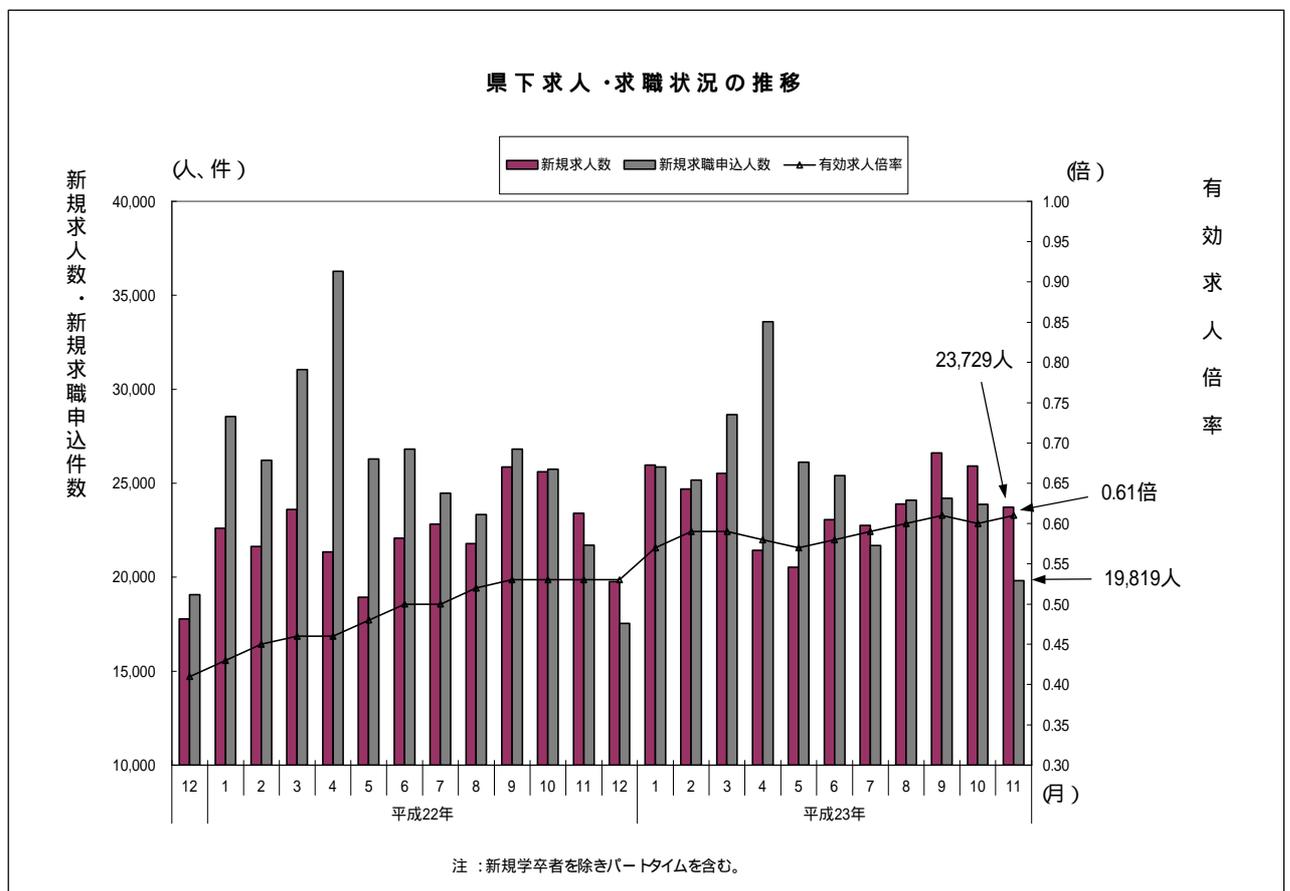
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	10/10-12	11/1-3	11/4-6	11/7-9	11/9	11/10	11/11
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.54	0.58	0.58	0.60	0.61	0.60	0.61
新規求人数 (原数値、前年比%)	14.5	12.3	4.3	3.9	2.9	1.2	1.4
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	12.5	8.3	7.5	1.0	1.9	3.6	6.3
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	1.2	0.6	0.2	0.7	0.9	0.6
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	0.4	0.4	0.9	0.1	0.0	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

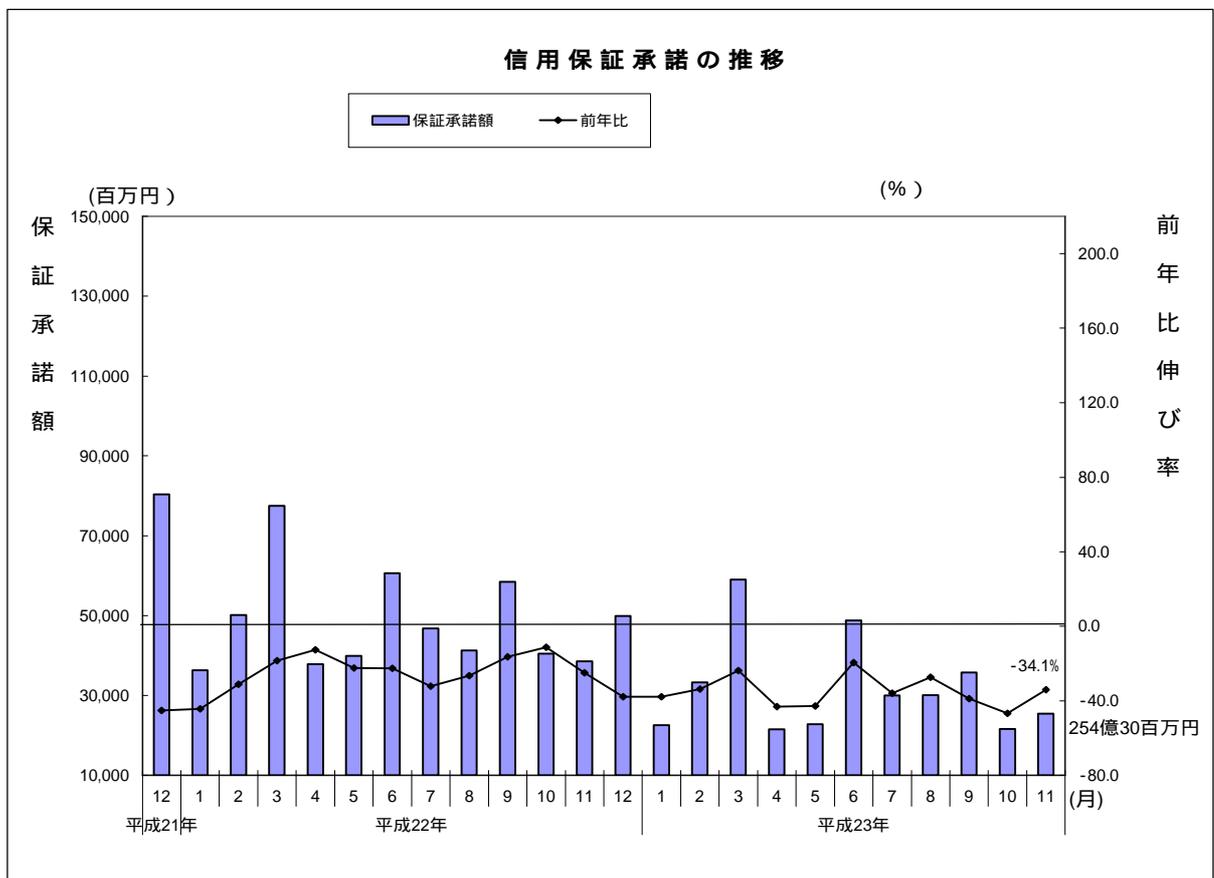
兵庫県信用保証協会による11月の保証承諾実績は、件数で1,768件(前年同月比25.6%減)、金額は254億3千万円(同34.1%減)となり、25か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減に加えて、景気の先行き不透明感から、新たな借入れを控えているとみられ、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,368百万円(前年同月比10.0%増)で前年同月を上回り、「卸売業」5,269百万円(同29.9%減)、「運送・倉庫業」1,109百万円(同31.4%減)、「飲食店」651百万円(同34.3%減)、「建設業」6,699百万円(同34.7%減)、「小売業」2,765百万円(同34.7%減)、「製造業」5,111百万円(同38.4%減)、「サービス業」2,409百万円(同42.3%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、279件(前年同月比32.2%増)、34億60百万円(同24.4%増)となった。

11月末の保証債務残高は、115,446件(前年同月比2.0%減)、1兆3,885億円(同4.8%減)となった。



【金融】

11月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	139,185	2.2	55,722	2.8
地方銀行	23,548	2.1	19,403	3.3
第二地方銀行	30,625	2.3	19,596	0.3
信用金庫	78,492	1.4	38,313	0.0
その他	16,755	3.9	16,971	1.7
計	288,605	2.1	150,005	0.4

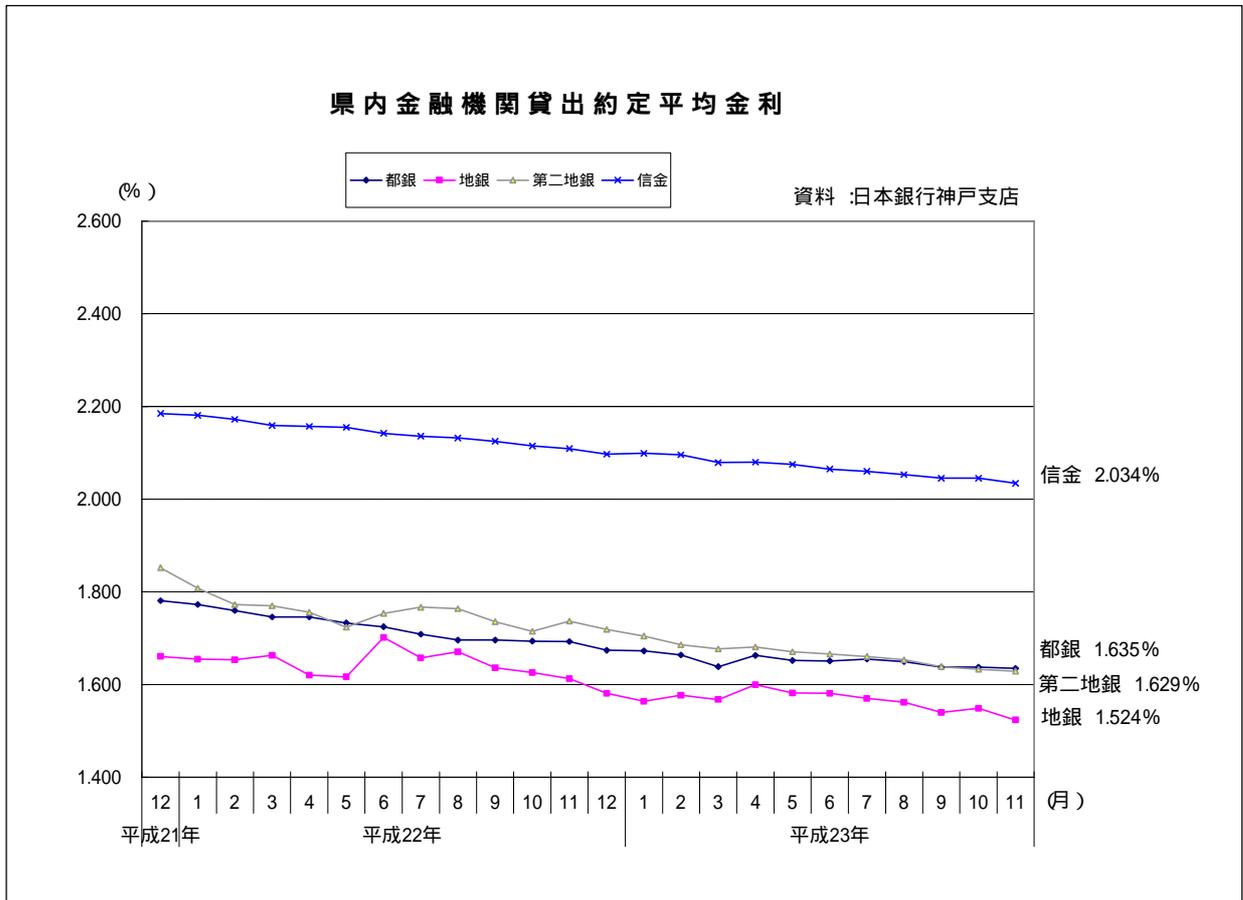
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

11月の預金は、前年を上回って推移している。

11月の貸出は、前年を下回って推移している。

11月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(11月末水準 1.761%、前月比 0.008%ポイント)。



【倒 産】

県内 12 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 47 件で前年同月比 9.6%減少、負債総額は 66 億 29 百万円で同 16.8%の減少となった。

倒産件数は前月比 6 件の減少となり、2 か月連続で減少基調を辿っている。

一方で負債総額は 8 か月連続で 100 億円を下回った。

当月も「個人企業」の倒産がトップ、「不況型倒産」が 40 件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が 37 件(全体の 78.7%)と前月比 2 件の減少ながら当月もトップ。2 番目は不良債権発生が 4 件、次いで赤字累積が 3 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 40 件と前月比 1 件の減少となったものの、構成比は 85.1%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が 17 件(全体の 36.2%)と最も多く、2 番目は不動産・サービス他業が 10 件、次いで食品業 9 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が 18 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 14 件、「1 百万円以上」が 9 件となった。

「産業別」では、「建設業」が 17 件でトップ、次いで「サービス・他業」が 10 件、「小売業」が 7 件となった。

金融円滑化法案を 1 年間延長(平成 25 年 3 月末まで)する方針が表明され、この部分では今後、一定の効果が見込まれるものと予測されるが、歴史的な超円高ドル安は年初も続いており、加えて EU 圏内の金融不安定要因を背景として円高ユーロ安の傾向が進展しているほか、原油高に見られるような資材・原材料価格の全般的な高値基調など経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が散見される。また、国内においても消費税増税論議など消費マインドに与えるインパクトは大きく、さらに、県内についても今後大手メーカーの工場撤退が予定されており、これは、工場立地周辺の雇用から税収等の様々な方面に影響を与えてくることが予測され、これら諸点を踏まえると、引き続き中小・零細企業を中心として中堅企業等まで含めた幅広い範囲で注視が必要と見られる。

12 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	2	3	-1	4	-2	金属・機械・電気	4	7	-3	6	-2
過小資本	1	3	-2	5	-4	化学・薬品	0	0	0	0	0
連鎖倒産	4	2	2	1	3	ゴム・皮革・ケミカル	1	2	-1	0	1
赤字累積	3	1	2	4	-1	食品	9	9	0	8	1
販売不振	37	39	-2	37	0	建設	17	16	1	17	0
売掛金回収難	0	1	-1	0	0	不動産・サービス	10	13	-3	15	-5
その他	0	4	-4	1	-1	運輸・通信他	6	6	0	6	0
合計	47	53	-6	52	-5	合計	47	53	-6	52	-5

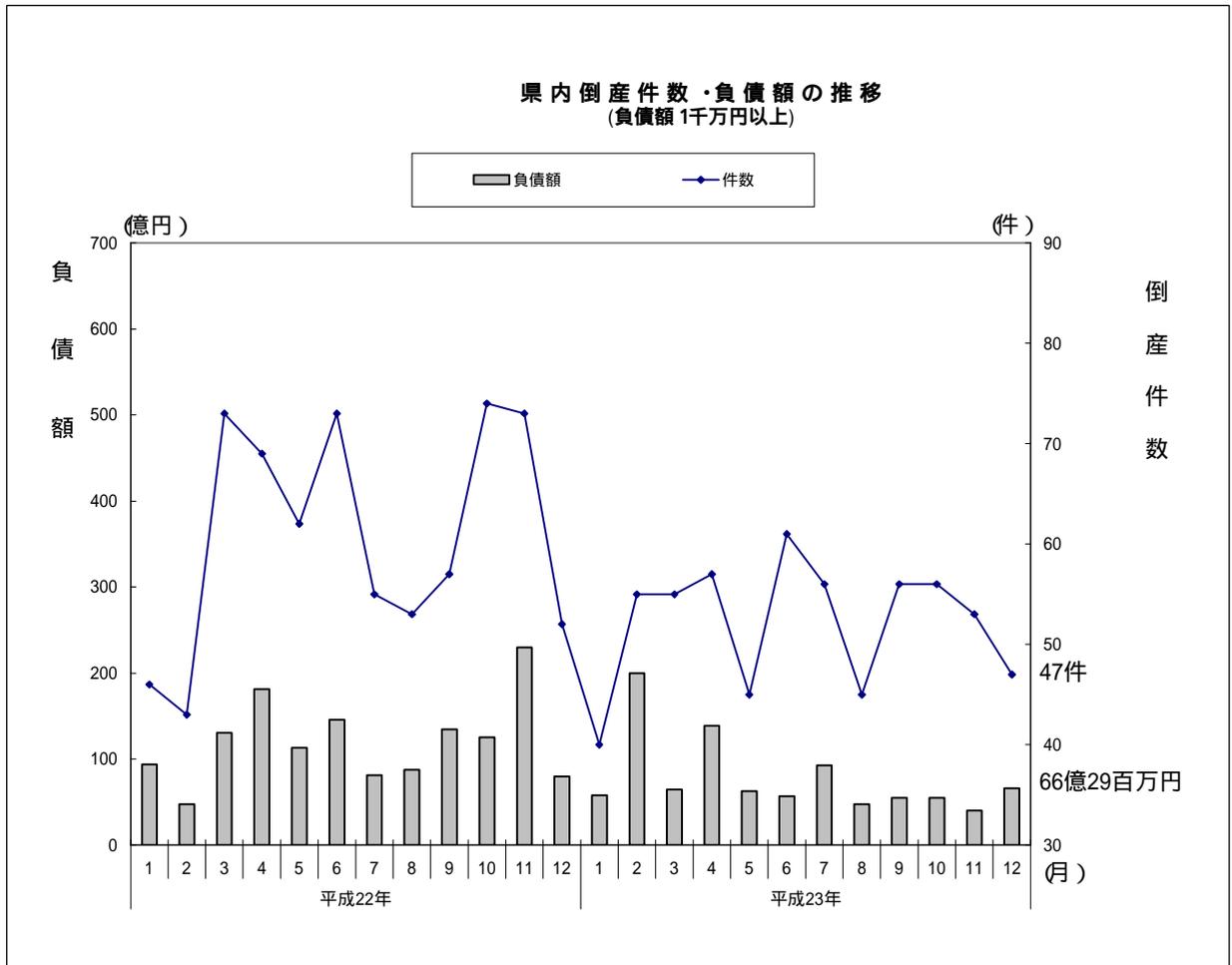
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2
23年 7月	56	18	16	8	9	2	1	2
23年 8月	45	15	9	7	10	0	2	2
23年 9月	56	17	22	4	10	2	0	1
23年 10月	56	19	17	5	11	2	2	0
23年 11月	53	19	17	8	9	0	0	0
23年 12月	47	8	19	13	5	2	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
22年		%		%		%	%		%	%
1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年										
1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月	99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
8月	97.9	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
9月	94.9	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
10月	r 97.2	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
11月	p 96.3	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
12月					182	-6.1	0.6			
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
22年		%	%		%	%		%		%
1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
23年										
1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	r 4,476	-2.8	r 2,252	27.1
11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	p 4,184	2.2	p 2,344	17.4
12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5					
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	100.1	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	100.0	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	100.3	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	100.4	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	100.3	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	100.1	0.0
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.5	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.9	-0.3	99.7	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.2	0.1	99.9	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.5	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.8	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	97.5	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	96.9	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	97.2	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	97.2	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	98.6	0.3	r 99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月							p 99.4	-0.4		
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	105.4	2.5	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	104.6	1.7	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	r 104.7	0.0	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	p 104.7	0.1				47	66	8	19	20
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値